

# 支援部だより

支援部だより 第4号

発行日 2025年12月24日

発行者 盛岡聴覚支援学校  
支援部

2025年も残りわずかとなりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

今年は、全国ろうあ者大会やデフリンピックといった大きな行事が続き、聴覚障がいのある方が活躍する姿を身近に感じられる一年だったのではないのでしょうか。

## 心に響くエッセイの紹介

冬休みをきっかけに、読書を楽しんでみませんか。今回は、聴覚障がいのある著者が綴ったエッセイをいくつか紹介します。それぞれの生い立ちは異なりますが、泣いたり笑ったり、心に響くエピソードが詰まっています。ページをめくりながら、「自分の人生にはどんな出会いや出来事が待っているのだろう」と考えてみるのも素敵ですね。



生まれつき耳が聞こえず、家族全員がろう者のデフファミリーとして育ったトトさん。複雑な家庭環境に育ちながらも専門学校で手話を身につけたゆうこさん。そんな2人が一緒に住み、本書はそんな2人(娘も入れて3人)の生活をエッセイとしてまとめた一冊。



我が家は今日もにぎやかです。聞こえる普通と、聞こえない普通。どれもすべて普通の日々。



母でも社長でも、全力で夢を追いかける七転八起の日々。前を向いて生きる勇気が湧いてくる。生まれつき耳が聞こえない彼女の生き方を綴った自己啓発エッセイ。



耳の聞こえない夫婦の出会いから妊娠出産、聞こえる子どもの育児、旅と移住、そして息子と妻の難病発症など…春日家のありのままの日々を記録。ろう者として生まれた著者が自身の成長を記録した『はるの空』に続く、第2作。

周りの音も自分の声すら聞こえない。ろう者として生まれた著者が、どのように成長し、言語を獲得したか。耳が聞こえないことも時には強みに変えて、晴れ渡る空の下、世界と渡り合う。「私を題材に聴覚障害を理解してほしい」という思いを込めて、ろう者自身が語る体当たり半生記。

世界一周旅行、YouTube、起業・・・やりたいことは全部やる! 生まれつき耳が聞こえず、補聴器をつけて生活。現在 YouTuber、会社経営、タレントとして活動し、SNS 総フォロワー55万人を超えるインフルエンサー・難聴うさぎの初エッセイ。障がいを抱えながらも、「自分の人生を前向きに生きる」がモットー!



ぜひ読んでみてください♪

# 補聴器・人工内耳の管理

冬の季節は、特に次の点に注意が必要です。

① 結露 ② 静電気 ③ 寒さ

冬休み中は、各自でしっかりメンテナンスができるよう、ご家庭でもチェックをお願いします。

## 結露

補聴器や人工内耳の内部やチューブ内に水滴がたまり、音が聞こえにくくなったり、音が途切れたりすることがあります。故障の原因も。結露の対策は原因によって異なります。

《対策》

内部の結露

➡乾燥ケース等に入れて、正常に動作するかどうか確認。調子が悪い時はすぐに販売店等へ連絡。



チューブ・イヤモールド内の水滴

➡ティシュペーパーで水分を吸い取る。

➡エアブローで水滴を飛ばす。

※綿棒は折れてしまって中に残ることがあるので、おすすめしません。

## 静電気

静電気によって人工内耳のプログラムが壊れる可能性があります。

《対策》

・静電気が起きやすい服の素材に注意する。

・静電気を逃すようにする。(人工内耳やお子さんの頭部に触れる際は事前にドアノブなどの金属に触れることで静電気を逃すことができます。)



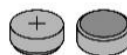
## 寒さ(電池の消耗)

寒さで電池の性能が一時的に低下したり、消耗が早くなったりすることがあります。また、空気の乾燥により寿命が短くなることがあります。(補聴器を乾燥剤入りのケースに入れる時は電池を外すと長持ちすると言われています。)

《対策》

・外出の際は、必ず予備の電池を持ち歩く。

・電池を補聴器に入れる前に、手のひらで少し温めてから装填すると、電力が安定する。



## 置き場所

ストーブなど暖房器具の近くや温風が直接当たる場所に補聴器や人工内耳を置かないでください。故障や変形の原因になることがあります。



## 故障時の相談

音が小さかったり、いつもと違う音がしたりする場合は、学校(支援部)やかかりつけ医、販売店メーカーに相談してください。



今、インターネットやSNSでは、聴覚障がいについて考えるきっかけになる情報がたくさん発信されています。この冬休み、ご家庭でぜひ話し合ってみませんか？新しい気づきとともに、素敵な冬休みをお過ごしください。

